

第6期第4回 新潟市亀田地区公民館運営審議会 議事概要

日 時： 平成31年3月11日（月） 午後2時～午後4時

場 所： 亀田地区公民館（江南区文化会館）講座室1

出席者： 新潟市亀田地区公民館運営審議会 石澤委員、大沢委員、川合委員、小見委員

齋藤委員、坂井委員、田村委員、森委員

横木委員

（五十音順）

事務局 亀田地区公民館

伊藤（館長）、捧（主任）、笠原、阿部、小林、廣木

曾野木地区公民館

樋口（館長）

横越地区公民館

池田（館長）、高山

1 開会 議長あいさつ

2 議事（報告事項）

（1）平成30年度事業中間報告について

（事務局） 平成30年度事業実施結果（1月末現在）を報告

（横木委員） 当初予算が0円で決算が出ている事業があるが、連携先が経費負担しているのか。また、その場合の主催は公民館なのか。

（事務局） 大枠の事業費の中で、地域や学校との調整により新規で事業を実施している。地域のボランティア、教育コーディネーター、活動協力員等の協力がある。

コミュニティ協議会やNPO法人、青少年育成協議会、スポーツ振興会、JAなどの費用負担による共催事業がある。

（田村委員） 公民館単独事業と、共催事業をもう少し色分けした方がよいのではないか。

（坂井委員） 共催の内容など記載してほしい。

（事務局） 次回から備考欄に記載する。

（田村委員） 横越の語り部養成講座は素晴らしいと思うが、予算はどの程度か。

（事務局） 地域学予算から印刷費として7万5千円で、50冊作成し図書館や小学校、中学校へ配布している。

（坂井委員） 地域住民の学校へ行くきっかけとなる、ふれあいスクール事業やてづくり楽校、家庭教育学級の中でも親の相談先などが減る児童期の家庭教育学級などは継続してほしいと思う。

また、家庭教育講演会の反響はどうだったのか。

（事務局） 家庭教育講演会は全て土日の午前に出前型で開催した。内容も共催先と検討し、地域回覧などの広報や申込み受付など協力いただいた。公民館事業への参加が初めての方が多く、多世代が同じテーマで考え、情報や現状の共有ができた。

（田村委員） 茶の間の学校の結果とコミュニティコーディネーター養成講座の内容について教えてほしい。

（事務局） 茶の間の学校は、すでに江南区には地域の茶の間が56か所あることから、実地研修も含め各団体の情報交換や実地研修による新たな発見などにつながった。

コミュニティコーディネーター養成講座は、住民主体でもう少し視野を広げ、地域住民と一緒に何かに取り組むノウハウと実践を学ぶ場を提供する形で実施した。

（坂井委員） 曾野木のきもだめし大会のボランティアは、どのように確保したのか。

- (事務局) 子どもたちのためにPTAや地域の団体、中高生も楽しみながら参加してくれた。
- (坂井委員) 定員を超える保育の安全確保について聞かせてほしい。
- (事務局) 対象児の状況により会場を分けるなどの対応を行っている。今後も事故がないよう、保育者と協力して行う。
- (坂井委員) 両川公民館の子ども事業について、文化祭など学校行事との関連づけなどの検討をお願いしたい。
- 横越の蕎麦打ち体験の参加者増の要因は何か。
- (事務局) 共催のコミ協の協力もありチラシデザインの刷新、設置先の拡大、ラジオ出演や情報誌への掲載など行った。また、メールでの申し込みを受けるなど改善した。
- (坂井委員) スマホ教室の内容について詳細を聞かせてほしい。
- (事務局) NTTドコモの無料講師を利用し、基本操作から丁寧にいき、各種トラブルへの対策も盛り込んだ。
- (小見委員) 亀田、大江山の報告にNとあるが4月以降に新しく事業化し追加されたものか。
- (事務局) 4月以降に各学校へ出向き、各校の要望など調整し事業化していることから報告時の掲載となった。
- (小見委員) 地域のニーズにより事業化するなど、地域の要望にしっかりと応えていくことによって社会教育の充実を図ることは、公民館の役割として非常に大事だと思う。
- (小見委員) 予算が少ない中で少なめの決算が出るようだが、経費を抑え工夫しながら良いサービスを提供しようという結果によるものか。
- (事務局) 今後の財政を考えると予算拡大は厳しいことから、事業の継続性、自主自立などを考えながら各種団体との連携により経費をおさえるようにしている。

(2) 平成31年度事業計画(案)について

- (事務局) 平成31年度事業計画(案)を説明
- (田村委員) 各公民館で学習室を開放しているが、学校はどのような状況か。
- (森委員) 亀田中学校では放課後について希望があれば開放している。夏休みはエアコンが未設置なので、今後の設置によってさらに開放が可能だと思う。
- (川合委員) 亀田東小学校では、ほぼ6時間目までであり下校時刻が4時頃となるため、残って学習する子どもはいない。子どもたちは自宅やひまわりクラブ、児童館で学習している。夏休みはサマースクールに来る子どももいるが、中学校同様にエアコンがないため、自宅で学習している子どもが多いと思う。
- (事務局) 亀田地区公民館では併設の図書館にも自習スペースがあり、試験前などの混雑時は臨時的に学習室を開放しているが、今後も一般利用者との均衡を図りつつ、学習室開放も継続していきたい。
- (小見委員) 公民館事業の基本方針について、平成31年度に変更を行った点はあるか。
- (事務局) 平成31年度が上位計画である教育ビジョン等の最終年となっており、これらの改訂に合わせ、公民館の基本方針の見直しを行うため変更点はない。
- (小見委員) 子どもを育てる環境は家庭教育が原点だと思う。特に曾野木の共生セミナーでは子どもの人権、虐待を取り上げるなどしている。今後も保護者が子育てについて学び合える場をより充実し提供してほしい。
- (坂井委員) 家庭教育講演会では様々な立場の人が一つのテーマで話し、学び合える場を提供し

ていて良いと思う。また、健康福祉課作成のパパノートには私も携わったが、乳児期の特別編など公民館事業での活用はよいと思う。

(事務局) 予算は着実に減っているが、江南区の公民館として継続実施はもちろん、開催方法を考え多くの市民にアプローチできるようにしたい。

(大沢委員) 今期で委員の任期を終えるが、横越中学校のコーディネーターとして、中学生の地域貢献など様々な場面で公民館と関わっていきたい。

(事務局) 今後とも、よろしくお願ひしたい。

【配布資料】

- ・資料 1－1～3 平成 30 年度事業中間報告 (亀田・曾野木・横越)
- ・資料 2－1～3 平成 31 年度事業計画 (案) (亀田・曾野木・横越)